

筑波大学 社会人のための博士後期課程

早期修了プログラム

筑波大学は頑張る社会人の博士取得を応援します！

早期修了プログラムとは

[最短1年で博士号を取得]

早期修了プログラムは、一定の研究業績や能力を有する社会人を対象に、標準修業年限が3年である博士後期課程を『最短1年で修了し課程博士号を取得するプログラム』であり、“頑張る社会人”を大学として応援するものです。本プログラムでは社会人としての研究実績や経験を元にして、指導教員から論文作成の指導を受けて博士論文を完成させます。

また、この制度では、論文作成と共に学生が達成すべき項目(7項目)を設定して定期的な評価を行う「達成度評価システム」を採用し、履修者が達成度を確実に確認できるように配慮しています。併せて本プログラム自体が外部からの評価を受けることなどで、プログラムで授与する学位の質を保証しています。

Early completion program



■ 早期修了プログラムを履修するためには

早期修了プログラムは、「一定の研究業績」や能力を有する社会人の方を対象としています。入学試験（社会人特別選抜）合格後、入学手続き（3月上旬の予定）までの間に研究科又は専攻指定の書類を提出し、プログラム適用の審査を受けることになります。研究科又は専攻の指定する書類は、「希望者概要（履歴書、最終学歴における専門分野、業務内容と志望分野の関係等）、業績リスト（プログラム審査要件に関わるもの）、達成度に関する自己評価書、博士論文の構想」等であり、これらの書類を基に「一定の研究業績」を有する者か否かを判断します。なお、必要に応じて面接を課す事になりますが、審査及び審査手続き書類の詳細は、入学試験合格通知書と一緒に送付いたします。

この審査において早期修了プログラムの履修が適当でないと判断された場合は、通常の入学として取り扱われますので、課程修了のためには、標準3年の在学が必要となります。ただし、通常の入学となった場合においても、在学中に優れた研究業績を挙げたと認められる場合は、従来の早期修了制度の適用が可能となりますので、その場合においては、3年未満（1年数ヶ月から2年数ヶ月）での修了が可能です。

なお、早期修了プログラムを履修する者が、勤務先の都合等により1年間で修了できなかった場合には、引き続き在学し、課程修了を目指していただくことになります。この場合にも、3年未満での修了が可能です。また、現職の都合等により休学も可能となっております。

■ プログラムにおける教育及び研究指導

e-learning、ゼミ等グループ指導型のTV会議システム、指導教員と学生の個別指導型のインターネットテレビ電話などのコミュニケーションシステムを活用することによって、筑波キャンパスと東京キャンパスのDual-Campusを実現し、社会人に対する多種多様な指導体制の確立を進めています。

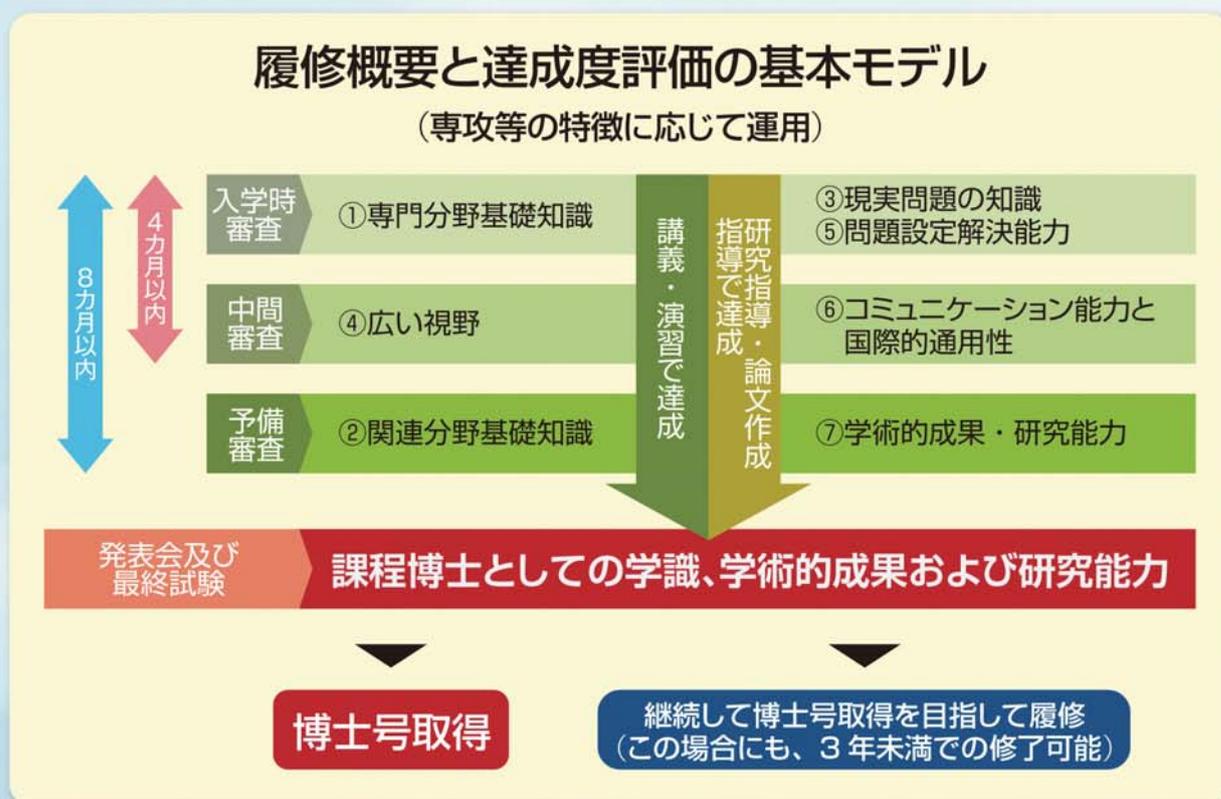
■ 達成度評価システムとは

入学時、中間審査（入学後4ヶ月以内）及び予備審査（入学後8ヶ月以内）等の3段階（あるいはそれ以上）の審査ステージにおいて、学生の自己評価及び教員による評価を基に課程博士の学位にふさわしいレベルに達しているかを7項目について評価するシステムです。

【達成度評価】

- ①専門分野基礎知識
- ②関連分野基礎知識
- ③現実問題の知識
- ④広い視野
- ⑤問題設定解決能力
- ⑥コミュニケーションと国際的通用性
- ⑦学術的成果・研究能力

下図では、本プログラムの評価項目（7項目）を各ステージで順次達成していく例を示しました。達成度審査はこのような流れを基本としていますが、研究科によっては3ステージ以上の場合もあり研究科・専攻の特性に合わせて運用されます。



対象とする方

一定の研究業績を有する社会人

入学時期

毎年4月

実施研究科・入試時期

【筑波キャンパス】入学試験：8月期入試、10月期入試及び2月期入試の社会人特別選抜

実施研究科	実施専攻
数理物質科学研究科	数学、物理学、化学、ナノサイエンス・ナノテクノロジー、電子・物理工学、物性・分子工学、物質・材料工学
システム情報工学研究科	社会システム・マネジメント、リスク工学、コンピュータサイエンス、知能機能システム、構造エネルギー工学
生命環境科学研究科	地球進化科学、生物科学、生物圏資源科学、生命産業科学、持続環境学、環境バイオマス共生学（一貫制博士課程第3年次編入学）*

※生命共存科学専攻は、平成24年度に環境バイオマス共生学専攻に改組しました。

【東京キャンパス】入学試験：9月期入試（コース別に実施）及び第2次募集

実施研究科	実施専攻
ビジネス科学研究科	企業科学（夜間社会人大学院）

募集要項は、入試実施の約3ヵ月前から公開される予定です。
請求方法については別紙「早期修了プログラム審査要件」をご参照ください。

プログラム審査要件

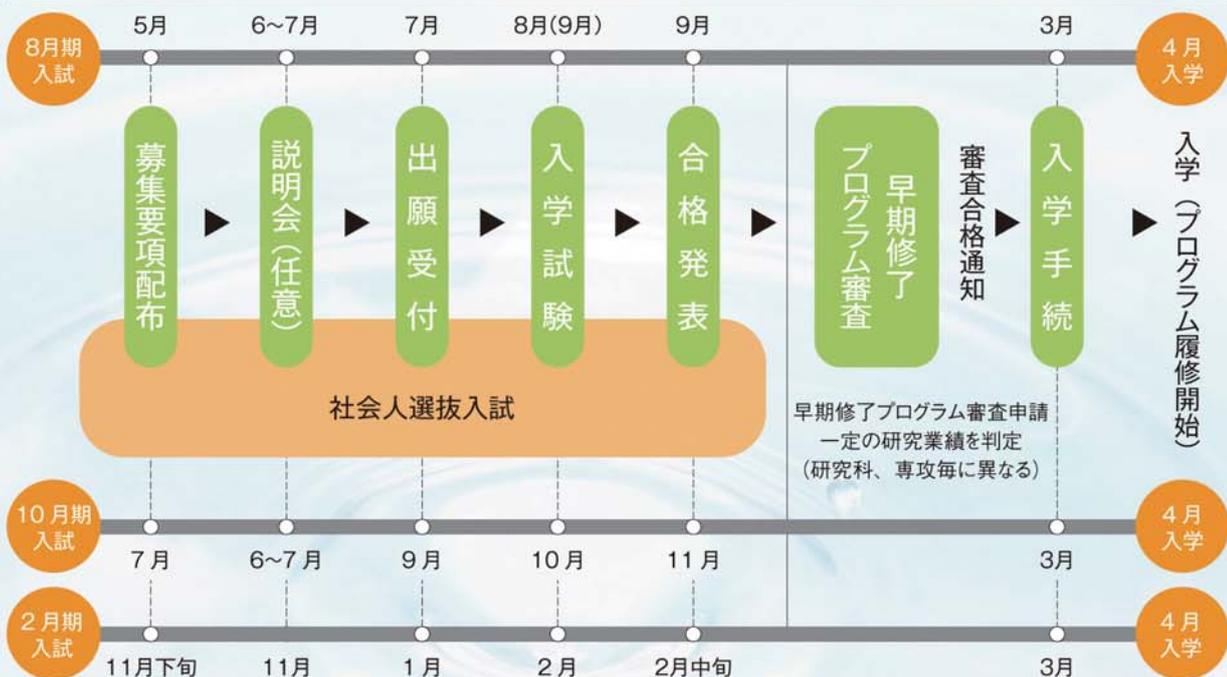
<http://www.souki.tsukuba.ac.jp/risyu.html>

早期修了プログラムウェブサイト又は、別紙「早期修了プログラム審査要件」をご参照ください。

平成24年度 研究科別履修者数・修了者数

履修者数：ビジネス科学0名、数理物質科学15名、システム情報工学7名、生命環境科学10名 計32名
修了者数：ビジネス科学0名、数理物質科学8名、システム情報工学5名、生命環境科学10名 計23名

早期修了プログラム入学までの流れ



※入学時期はどの研究科、どの入試時期でも毎年4月になります。

よくある質問

Q1：博士後期課程と博士課程はどう違うのですか。また、博士前期課程でも博士号は取得できるのですか。

An：一般的に大学院は修士課程、博士課程からなり、修士課程を修了後進学するのが博士課程です。本学で実施する「博士後期課程早期修了プログラム」は、修士課程修了者が進学するいわゆる博士課程です。

なお、博士前期課程、博士後期課程というのは、大学院5年を前期2年、後期3年に区分して設置したものであり、設置上の区分の名称です。博士前期課程はいわゆる修士課程ですので、博士号の取得はできません。

Q2：筑波キャンパスの研究科・専攻で「早期修了プログラム」を履修する場合、どのくらいの頻度で筑波キャンパスに出向かなければなりませんか。

An：指導教員の指導方法にもよりますが、電子メールなどで連絡や指導を受けることが出来ている場合には、実際に筑波キャンパスに出向くのは平均して週に1回程度で可能です。

なお、筑波キャンパスで開講される講義については、遠隔講義システムを用いて東京キャンパスで受講することもできます。また、インターネットテレビ電話などを利用した個別指導を受けることが可能です。そのために貸与できる周辺機器も用意しています。

Q3：1年で取得した博士号は、質が低いという評価になりませんか。

An：本プログラムでは、課程博士の学位に相応しいレベルに達しているかを個々の学生毎に評価する「達成度評価システム」において定期的に検証するとともに、外部評価委員会を設置し学位授与プロセス全体を第三者が評価することによって、博士号の質及び社会的評価の確保を行うこととしており、同等若しくはそれ以上の質(水準)を有するとの評価を受け得るものと考えています。

Q4：修士号を取得していない、もしくは修士相当課程を1年で修了したのですがこのプログラムを受けられますか。

An：修士号を有していない方は出願前に当該研究科の出願資格審査において、「本学において修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者」と判定された場合には、通常修士同等として入学試験を受験することができます。合格した場合、プログラム審査を受けることができます。また、博士課程の修了には、修士相当課程の在学年数を含め、最低3年以上の在学年数が必要となります。修士相当課程を1年で早期修了した場合には本プログラムを受けることができません。詳しくは早期修了プログラム事務担当までお問い合わせ下さい。

入学に必要な経費(平成25年度の例)

検定料：30,000円 入学料：282,000円 授業料：535,800円(年額)

※入学時及び在学中に、学生納付金の改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

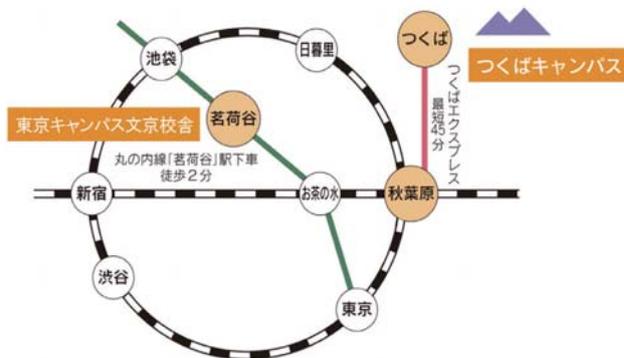
問い合わせ先

【プログラムや体制・制度に関するお問い合わせ】

早期修了プログラム事務担当

☎029-853-7631、8094

E-mail：jimu@souki.tsukuba.ac.jp



【研究分野・履修要件に関するお問い合わせ】

研究科	連絡先	電話番号等
数理解物質科学研究科 ^{*1} http://www.pas.tsukuba.ac.jp/	数理解物質エリア支援室 大学院教務	☎029-853-4030 kyoumu-pas@un.tsukuba.ac.jp
システム情報工科学研究科 ^{*1} http://www.sie.tsukuba.ac.jp/	システム情報エリア支援室 大学院教務	☎029-853-4979 sysinfo.kyomu@sie.tsukuba.ac.jp
生命環境科学研究科 ^{*1} http://www.life.tsukuba.ac.jp/	生命環境エリア支援室 大学院教務	☎029-853-7808 seimein@un.tsukuba.ac.jp
ビジネス科学研究科 ^{*2} http://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/	社会人大学院等支援室 教務	☎03-3942-6918

※1 対応時間：月～金曜日：9:00～17:00(土・日・祝日、年末年始を除く)

※2 対応時間：月曜日：10:00～18:30 火～金曜日：10:00～21:10 土曜日：11:40～20:00(日・祝日、年末年始を除く)

[別紙]

早期修了プログラム審査要件(平成25年4月現在)

【履修に必要な論文数・口頭発表数】

研究科	専攻	査読付き学術論文数	口頭発表数
数理物質科学研究科	数学	論文2編以上 (国際学術誌に掲載済みまたは掲載を認められたもの。1編は単著であること。)	発表数は問わない
	物理学	論文3編以上 (国際学術誌に掲載済み、または掲載を認められたもの。)	発表数は問わない
	化学	筆頭著者の論文あるいは貢献度の高い論文、合わせて3編以上 (国際学術誌(査読付き国際会議論文を含む)に掲載済み、または掲載を認められたもの。)	発表数は問わない
	ナノサイエンス・ナノテクノロジー※	筆頭著者の論文あるいは貢献度の高い論文、合わせて3編以上 (国際学術誌(査読付き国際会議論文を含む)に掲載済み、または掲載を認められたもの。)	発表数は問わない
	電子・物理工学	論文3編以上 (国際学術誌に掲載済みまたは掲載を認められたもの。筆頭著者に限る。)	発表数は問わない
	物性・分子工学	論文3編以上 (国際学術誌に掲載済みまたは掲載を認められたもの。筆頭著者に限る。)	発表数は問わない
	物質・材料工学	論文4編以上 (国際学術誌に掲載済みまたは掲載を認められたもの。筆頭著者に限る。)	発表数は問わない
システム情報工学研究科	社会システム・マネジメント	査読付き学術論文2編以上 (筆頭著者であることが望ましい)	発表数は問わない
	リスク工学	査読付き学術論文1編以上 (筆頭著者であることが望ましい)	口頭発表資料2編以上 (査読付き国際会議論文が望ましい)
	コンピュータサイエンス	査読付き学術雑誌論文1編以上 (最近5年以内で、筆頭著者であるもの)	国際会議における 口頭発表論文2編以上 (主たる著者であることが望ましい)
	知能機能システム	査読付き学術雑誌論文3編以上 (筆頭著者であることが望ましい)	国際会議における 口頭発表論文1編以上 (筆頭著者であり、自身が発表したもの)
	構造エネルギー工学	査読付き学術論文2編以上	口頭発表資料2編以上
生命環境科学研究科	地球進化科学	筆頭著者の原著論文2編以上(査読付の国際学術誌に掲載済みもしくは掲載可(in press)であること。)	
	生物科学	筆頭著者の原著論文2編以上(査読付の国際学術誌に掲載済みもしくは掲載可(in press)であること。)	
	生物圏資源科学	筆頭著者の原著論文2編以上(国際学術誌に掲載済みあるいは受理(accepted)されたものであること。)	
	生命産業科学	筆頭欧文論文2編以上、筆頭和文論文4編以上または筆頭欧文論文1編と筆頭和文論文2編以上 (学術誌に掲載済みもしくは掲載可(in press)であること。)	2件以上
	持続環境学	筆頭著者の原著論文1編を含む原著論文2編以上 (学術誌に掲載済みもしくは掲載可(in press)であること。)	
	環境バイオマス共生学 (一貫制博士課程)	筆頭著者の原著論文2編以上(査読付の国際学術誌に掲載済みもしくは掲載可(in press)であること。)	
ビジネス科学研究科	企業科学 (システムズ・マネジメントコース)	2編以上の査読付き学術論文	
	企業科学 (企業法コース)	2編以上の査読付き学術論文相当 ただし、うち1編は10万字程度の分量があること	

募集要項の請求について

▼筑波キャンパス

学生募集要項ウェブサイト（下記URL）からダウンロードして入手
<http://www.ap-graduate.tsukuba.ac.jp/>

【注意事項】

- 郵送、電話およびE-mailによる請求には応じられません。
- 大学院入試に関するお問い合わせは下記にお願いします。

〒305-8577
茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学教育推進部教育推進課大学院入試担当

TEL:029-853-2230,2231

（お急ぎの場合は、お電話にてお問い合わせ下さい。）

▼東京キャンパス

東京キャンパスホームページ（下記URL）からダウンロードして入手
<http://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/>

【注意事項】

- 郵送、電話及びE-mailによる請求には応じられません。
- ビジネス科学研究科大学院入試に関するお問い合わせは下記にお願いします。

〒112-0012
東京都文京区大塚3-29-1
筑波大学社会人大学院等支援室教務

TEL:03-3942-6918